

花巻市石鳥谷地域協議会 平成25年度第6回会議 会議録

【日 時】 平成26年2月21日（金）午後1時30分～午後2時40分

【場 所】 石鳥谷総合支所 1階 旧議会棟 委員会室

【出席者】 出席委員：8名

似内英悦、菅原黎治、熊谷幸雄、玉山規矩夫、藤原真紀男、
晴山美紀子、伊藤邦彦、佐々木さつき

欠席委員：7名

菅原昭造、熊谷弘子、佐藤芳彰、樋口正洋、立花英一、岩館大輔、
藤根勝榮

事務局出席者（石鳥谷総合支所）：8名

菅原総合支所長、伊藤地域振興課長、関地域支援監、
熊谷市民サービス課長、熊谷主幹兼地域振興課長補佐、
菅原地域振興課長補佐、藤原市民サービス課長補佐、畠山主査

【協 議】 平成25年度協議内容のまとめ

「花巻市石鳥谷地域協議会だより」の発行について

平成25年度の協議内容を確認するとともに、各コミュニティ会議
の会長と当地域協議会会長、副会長との意見交換会の内容を報告

「花巻市石鳥谷地域協議会だより」を「広報はなまき3月15日号」
配布時に合わせて、石鳥谷地域にカラー印刷で全世帯配布すること
とした。

【会議を傍聴した者】 なし

※会議での発言等は別紙顛末のとおり

※会議における配付資料は以下のとおり

- ・石鳥谷地域協議会開催状況
- ・花巻市石鳥谷地域協議会だより

顛末

○ 進行／伊藤地域振興課長

1 開 会 13：30

伊藤課長

只今より平成25年度花巻市石鳥谷地域協議会第6回会議を開催いたします。それでは、似内副会長ご挨拶をお願いいたします。

2 挨拶

似内副会長

菅原会長は今回都合により欠席のため、副会長の私が進めさせていただきます。

私たちは、平成24年に委嘱を受け、今年の4月末で任期終了となり、今日がたぶん最後の会議になろうかと思えます。どうぞ、今までの2年間で振り返りながら、そして今年度1年間で振り返りながら、こうあるべきだ、あああるべきだというような、いろいろなご意見、反省点等を出していただければ幸いと考えております。

3 協 議

似内副会長

本日の協議には、(1)平成25年度協議内容のまとめと(2)その他があります。それでは、事務局より(1)の説明をお願いいたします。

畠山主査

平成25年度協議内容について資料「石鳥谷地域協議会開催状況」を読み上げて説明

似内副会長

第4回の会議時に石鳥谷地域の課題解決に向けて、コミュニティ会議の会長と当協議会の会長、副会長で意見交換会を開催して欲しいと提案したところ、総合支所長さんのご配慮をいただきまして、1月17日に各コミュニティ会議の会長さん方と意見交換会が開催されることとなり、私と菅原会長が出席して参りました。そこで、共同事業としてやれるものがないだろうか、というような形での提案をして参りました。大きな提案の仕方でありましたが、ひとつは、石鳥谷生涯学習会館を活用した事業展開、6コミュニティ会議共同の事業展開ができないかどうか。これにつきましては、各コミュニティ会議でもそれぞれいろいろな事業を展開しておりますが、例えば、講師をお願いして規模の大きな講演会を開催する。それは例えば、T P Pとかは農業者だけの問題ではありませんので、費用を各コミュニティ会議で負担し合って開催し、T P Pの解説や見通しを聞くというようなことをやってもいいのではと思えますし、あるいは、平成28年度には国体が岩手県であります。石鳥谷地域でもソフトボールがあります。冬の大会では、アイスホッケーが予定されております。その時には、前の石鳥谷町の時はいわゆる「おもてなし」をしました。

各行政区がひとつの県を担当して応援しました。あの時のあったかいおもてなしは忘れることはできません。そういうようなことを共同事業という形で、取り組むべきではないかと提案してみました。もうひとつは、私を含めてですが団塊の世代、介護される前の世代の人たちの集える事業。各コミュニティ会議で事業展開していくのもいいでしょうが、一緒に何かやっていく方法はないだろうかという提案をし、各会長から意見を頂戴しました。意見はいろいろ出ました。結論から言うと、答えは出ないでしまいました。ただ、それはいいことだが、今まで7年間やってきた、それぞれ特色があるコミュニティの事業をやっているのに、それに輪をかけるのはいかがかという意見もありましたし、せつかくある石鳥谷生涯学習会館がある以上は、それを活用するのもひとつだろうが、ただ地区の特色は守らせて欲しいという意見が出ました。それはそれで、尊重しなければならないと思います。

私が感じたことのひとつとして、今まで最初にスタートしたコミュニティ会議はハードの事業が主でしたが、今後は、コミュニティ会議の事業のあり方を検証していくことが必要かなあと感じております。支所長さん方がどのような感想をお持ちかわかりませんが、私が強く勧めたいのは、できれば石鳥谷生涯学習会館を拠点とした事業の展開、在京町人会や軽スポーツ大会以外の共同事業があってもいいのではと願うところでした。本日は、これらのことを踏まえて、皆さんからご意見をいただいて、その後「花巻市石鳥谷地域協議会だより」を発行するということですので、それについてのご意見もいただくということで、進めて参ります。先ほど、事務局から説明はありました、1から6回の会議と私が説明しました意見交換会の内容について何かご意見ありましたらお願いします。支所長さんの方からも、コミュニティ会議の会長さん方との意見交換会に参加してみたいの感想をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

菅原総合支所長

似内副会長さんからお話いただいた状況ですが、できれば私も似内副会長と同じように、石鳥谷地域で一緒になって地域の人づくり、リーダー育成のようなことを共同での事業を展開できないものかと考えております。それには、各コミュニティから持ち寄った事業費で実施することになりますので、それぞれの6地区のコミュニティ会議の方々の同意が得られない限り実現しないので、もう少し時間がかかるのかなあとと思います。しかし、こういう話し合う機会は今後もあるかと思っておりますので、実現の方向に向かうのかなあとという気がしております。今、平成19年からコミュニティの活動を展開していただいているわけですが、いろんな交付金の使い方課題が出てきていると思っておりますので、そういうことを行政としてしっかり受け止めて、地域の方のご意見を聞きながら、より効率のいい交付金の使い方を図っていくべきだろうと思っております。これからは、地域協議会とコミュニティ会議との連携はとても大事だと感じております。今回は1回意見交換会を行いました。今後更に、6地区のコミュニティ会議と連携して、地域課題に取り組んでいかなければならないと思っておりますので、その仕組みを改めて見直す必要が出てきているのかなあと感じております。皆さんには2年間委員をしていただきまして、それぞれ感想が

あるかと思しますので、そういうことを含めて、皆さんからご意見をいただければと思います。

似内副会長

支所長さんがおっしゃったとおり、コミュニティ会議との連携が今まで欠けていたのかなあと感じております。私どもが協議会で話し合った内容が、コミュニティ会議の方へ反映されているかという点、必ずしもそうではなく、ここで会議をして、それで終わった形でありましたので、私たち協議会が働きかけるものなのか、コミュニティ会議の方から地域協議会でもう少し話し合っただけで統一した意見を出してこないか、という点もあるのかもしれませんが、やはり連携というものは不足したのかなあと感じておりますが、皆さんのご意見はいかがでしょうか。

玉山委員

私は、区長をしていることでコミュニティ会議の副会長を受けることとなり、コミュニティ会議のこれまでの経過がわからないまま、この地域協議会の委員を、コミュニティ会議から推薦することになっているから出てくれないかと言われ、その位置付けがわからないまま現在に至りましたが、地域課題を抽出するにあたり、本来は、コミュニティ会議の代表であれば、コミュニティ会議の中で地区にある課題について話し合い、その内容をもって地域協議会の会議に出席することができれば、よかったですと思いますが、実際はそうではなく、個人の見解の話となってしまう、かみ合わない部分もあったので、今回は仕切り直しをして、コミュニティ会議の代表できている、という認識をもってもらうような進め方をさせていただければ、各コミュニティ会議との連携もよくなってくると思います。

似内副会長

私どもは委嘱される立場でありますので、今後、委嘱する方でその辺のところを考えていただければと思います。交付金の課題というのは27コミュニティでも言われているのですか。

関支援監

当初19年度から始まった最初の交付金は、ある程度一定の計算方法で出されたわけですが、3年を経過して見直しとなり、今まで多く交付されていたところは少なく、少ないところは多くなる均等に近しい状況になっております。最近ではハード面が先行してきて、次は何をするべきかという協議がされており、これからはソフト面に移行していくのかな、という話になってきているようです。また、これまで話し合われたことでは、残金については、希望するコミュニティ会議に交付できるように、市の方で残金を残して、コミュニティ会議で大きな事業がある時には、そちらにまわすことができるような仕組みについて、話が出ております。

似内副会長

コミュニティ会議で道を造ったり、防犯灯を建てたりしましたけど、何年かしますと防犯灯が切れれば取替えなければならないし、防犯灯のペンキを塗り替えたり、維持管理費用がかかるようになってきて、そのことをコミュニティ会議では想定外だということはできないし、コミュニティ会議の責任として跳ね返ってくる。今後、そういう状態になってくると思う。自由に使えるといいながらも、ある程度の何かブレーキ作用があればよかったですと思います。そういうことを踏まえて、自由に使えるよといいながら、今後の交付金の使い方は将来を見据えて、熟慮し、使い方を各コミュニティで考えていく必要があると思います。それぞれの地域の特色ある事業が進化したことは、コミュニティ会議の成果だと思います。八幡の田んぼアート、八日市のつるし雛、大瀬川の葛丸をテーマにした事業など今まで考えられなかった事業が展開していき、成果だと感じております。

佐々木委員

私もおっしゃったとおり、始まった時は、防犯灯を設置するなどハードの部分ばかりでしたが、2、3年位前からソフトの方へシフトしてきているのがわかります。特色ある事業の展開として、コミュニティのたよりとか新聞を見ると、あれもいいこれもいいなあ、八重畑でも何かできないかなあとは思っております。ただ私、現在子育てが忙しくて、そこの部分になかなか関われなくていますが、八重畑のコミュニティの方々は、一生懸命で防災マップを作ったり、湧水地に看板をつけたり、コミュニティに心強いものを感じております。

熊谷委員

特色あるものができてきたということですが、つるし雛も9回目になり、やはりなんでもある程度やればけじめがくるのか、10回目でやめるか、干支の1巡で12年を区切りにするかという話が出てきているようです。つるし雛には、特色ある事業として補助なり応援をしてきたところですが、その次については、ハードの部分については維持費の問題がありますので、本当に必要かという部分を検討しておりますし、そういうハードが減った分、ソフト面ということなのでしょうが、今まで活動してきた後、今佐々木委員から話がありましたが、八日市でも、子ども会とか地区長さんが委員に入っておりますが、ある程度の行事には出てきますけど、それ以外の形ができてきていない。人づくりが他の地区より遅れているので、会議で集まれば事務局案はないのと話されますし、そこをいかにしていくか。新しい企画か、若い人たちや子育て終わった世代、女性であれば婦人会がありますが、婦人会に該当する年代の男性の活動、男性は、営農組合とかで忙しいとは思いますが、そういう年代でがんばらないとだめなのかなあと思います。

晴山委員

最初この委員になった時、どういうお話をするところかもわからず参加して、やっと今になって、こういう形で、こういう方向性をもって、こういう立場なのだとわかったような気がします。私の立場としては、好地まちづくり委員会の教育振興

部会の委員をしておりますが、その中で見ることに、ここで見るいろんなことや、好地地区でしていることが、どこに反映して、どこまで通って、どこで決められてということが、住民にあまり伝わっていないなあと感じました。好地地区のあり方もあるのですが、敬老祭ですが去年から花巻温泉でやりました。以前は婦人会の仲間で2、3日前から花とかいろんな準備して、影ながら支えてきたことを、小学校のPTAの方が見て、子どもたちの吹奏楽とか保育園の遊戯とかに引率してきて見て、敬老祭はこんなことをしているのだというのを見てもらって、何年か後に、私たちも敬老祭をしてもらいたいから、私たちががんばれば、次につながるのかなあと続けてきたことが、去年プツンと切れてしまい、どうしてかと思ったら、楽だからだそうです。やる人たちが。冷房も効いているし、環境もいいし、流れがスムーズだろうし、けれど、いかなかった人、いけなかった人の気持ちを聞かなかったのかなあと思います。中には、行く予定だったけど、ビバハウスではないから行かないという人もいました。いろんな人がいます。私の立場でいうと、人が多くなって大変なのはわかりますが、そこをみんなでやっているところを見ていただくことで、地域が育っていくのかなあとと思って続けてきたことが切れてしまって、そういうところが難しいです。婦人会もメンバーは減ってきていてやる人がいない。

熊谷委員

今の敬老祭について言えば、好地でやったと聞いて、八日市でもしたいと思いましたが、その前は八重畑でもしていたけど1年で元に戻った。結局はやる人が、敬老祭の人数が増えて、それに応じられない。区長、班長を集めてしているけど、入るスペースにも限りがある。また、婦人会の負担を減らそうというのがあり、軽減をしています。やはりそういうことをしていけないと続かない。しかし、温泉に行ったことで婦人会の踊りがなくなるのも残念ですし、いける人、いけない人どっちの意見もありますし、コミュニティの共通事項として意見交換会をしてかないと、好地でかかる位の金額を八日市では持ち出しできないし、八日市では新年度での話し合い事項となっていました。

似内副会長

晴山委員の話にもありましたが、ここでの話し合いが反映されていないということが残念ですが、これから「花巻市石鳥谷地域協議会だより」が発行されますが、地域協議会でこういう話が出ていることに対して、コミュニティ会議でどう受け止めて、どう反応するのかということが見えてきていない。コミュニティ会議と地域協議会がうまく連携を図るためには、地域協議会の構成員を次年度は考える必要があるのではと思います。地域協議会とコミュニティ会議は別組織で、地域協議会は条例で定められていて、コミュニティ会議は自由にしていよという組織ですので、そことの連携は難しいかもしれませんが、何かうまく連携がとれる仕組みがあればと感じました。コミュニティ会議の共同事業については、今回意見交換会を行いました。1回の会議だけでは、うまく反映させることができない感じがします。

菅原委員

私は途中から地域協議会の委員となり、会議に参加したのは、今日を含めて4回でして、そういう中で感じたことは、この会議は、市から与えられたもの、諮問、答申を決めれば、それが石鳥谷地域の決定で、それとは別に、今コミュニティ会議の話が出ておりますが、そのコミュニティ会議の話し合われた内容は、直接この地域協議会には、きていないと感じております。今話を聞いておりますと、それをここで各コミュニティ会議の代表できている委員が話をして、この地域協議会で取り上げることになっているようですが、あえてコミュニティ会議と話をする必要のあるのかと考えさせられております。さっき話がありました、中央で何かした方がいいのではという話には、そのとおりでと思います。それぞれの地区で何かあった場合、例えば、大瀬川でたろし滝の測定会が2月11日にあるからきてください、といったような声をかけるとかできるので、今後も代表者との会議は続けた方がいいのではと感じております。

藤原委員

ひとつは、この地域協議会は2年任期で最初の1年は、ほとんど全員出席しているが、だんだん出席者が減ってきている。結局、地域協議会は予算がありませんので、ここでいろいろ計画して実行することができない。そこで、各コミュニティ会議が自分たちの考えをもって、イベントなり行事をしており、そこに地域協議会が入り込む余地があるのかと思います。私が委員になった平成22年度当初は、菊池前総合支所長が石鳥谷地域6地区に共通するテーマでこの地域協議会を進めてくださいと話があったような気がします。今までを振り返ってみて、予算が地域協議会にない中で、各地区で共通する取り組みで、これからのもので、石鳥谷生涯学習会館でやるイベントが、何かひとつ位あった方がいいと思います。その共通することは何かと考えた中で、これから問題になっていくことは、医療費が問題になってくると思います。これから団塊の世代がどんどん増えてきて、医療費が使われる。次の若い人たちも、何とかして欲しいと考えているはず。大体65歳以上は国保かと思いますが、各地区の健康診断の受診率とか健康回復、健康維持するための取り組みとか、それが医療費の増幅を抑えることができると思いますので、健康に絡んだ、健康フェアとかを石鳥谷地域として、石鳥谷生涯学習会館でしてみる。そのような、お互いの健康維持するようなフェスティバルなんかがいいのではと感じております。

晴山委員

女性は何か用事がなくても出かけますが、男性はなかなか用事がないと家から出ない。月に1回位のペースで、石鳥谷生涯学習会館でイベントがあればいいと思いますね。

熊谷委員

それを誰がやるかですね。地域協議会の委員が何をしているかというのは、ここ

にすればこそわかりますが、委員を推薦する方のコミュニティ会議が、この地域協議会がどういう組織かわかっていない。

似内副会長

そろそろ、時間となって参りました。今まで6回地域協議会を開催してきて、提言したいことが見えてきたような気がします。今年度のまとめとして発行する「花巻市石鳥谷地域協議会だより」について、協議したいと思いますが、まず、少し読んでいただいて、今日の会議を踏まえてのご意見などをお願いいたします。

晴山委員

写真は見る人が見ればわかりますが、わからない方はわからないので、紹介があればいいかと思えます。

似内副会長

その他は、いかがでしょうか。発行することよろしいでしょうか。

「異議なし」の声あり。

伊藤課長

今回の地域協議会だよりの発行は3回目となります。第1回目は世帯回覧、第2回目はカラーで全世帯配布して欲しいと意見が出まして、そうしております。今回も前回同様、カラーで全世帯配布。時期は、「広報はなまき3月15日号」の発行に合わせて、お配りすることとしております。また、これから各コミュニティ会議で役員会、総会が開催されると思いますが、そちらの方でも地域協議会の話をしていただければと思います。

似内副会長

ありがとうございました。

4 その他

菅原総合支所長

それでは、私の方から御礼申し上げたいと思います。委員の皆様には、学識経験者として、あるいはコミュニティ会議代表、各団体推薦の委員として、平成24年5月から2カ年にわたりまして、延べ11回の会議を開催していただきました。平成24年度の初年度の自主開催の会議におきまして、委員の皆様から11件の地域課題の提起をいただき、課題の解決に向けた様々な意見をいただき、うち5件をまとめまして、残りの6件につきましては、25年度の継続協議として取り組んでいただきました。

また、市におきましては、御要望がありました、八重畑地内の権現堂山の登山道の補修につきましては、側溝整備や登山道の一部補修工事を実施したところでござ

います。平成25年度におきましては、新しい「花巻市まちづくり総合計画（素案）」の諮問におきましては、企業誘致による職場確保や若い人たちの意見が反映されるまちづくりなど、地域協議会の委員の皆様から様々なご意見をいただいたほか、「花巻市公共交通計画（案）」の諮問に対する答申におきましては、高齢者に配慮したサービス、柔軟な対応と市民への周知ということでご要望をいただいたところでございます。自主的な活動といたしまして、他の地域にはありませんが、地域協議会だよりを今回含めて3回の発行をしていただいたところでございます。

今回初めてとなりましたが、地域協議会の正副会長さんと各6地区のコミュニティ会議の会長方との意見交換会では、地域課題解決に向けた、各コミュニティ会議における取り組みというものを、地域協議会の意見として要請したところでございますし、また6地区の共同事業の提案など、地域振興とコミュニティの醸成に努めていただいたところでございます。市といたしましても、今後なお一層市民が安心、安全な、そして心豊かな暮らしができるように、一生懸命取り組んで参りたいと思っておりますので、どうか委員の皆様方には、今後なお一層、ご支援ご協力いただきたいと思っております。今日は、2年任期の最後の会議になろうかと思っております。今日は欠席されておりますが、菅原昭造会長そして似内副会長を中心といたしまして、15名の委員各位には、地域課題の解決に向けた取り組みをいただきましたこと、心から感謝申し上げます、簡単でございますけれども、御礼の言葉とさせていただきます。2年間、大変ありがとうございました。

似内副会長

最後に支所長さんから話がありましたとおり、私たちの任期は終わりでございますが、今まで2年間話し合ったことを、委員の立場は終わりになりますが、それぞれのコミュニティ会議の場で、がんばってご活躍いただければ幸いです。

5 閉 会 伊藤課長が閉会を宣した。 14：40